

事業トップメッセージ

ファーマ

グループの中核事業として、 強い存在感を示すファーマビジネスをつくっていきます

執行役エグゼクティブバイスプレジデント
ファーマ所管

上野 裕明



強い意志とスピード感をもって経営計画を実行

ファーマ事業は、長い歴史の中で培ってきた医薬品創製の力をさらに高め、三菱ケミカルグループの中核事業として、また世界の人々の健康に貢献する製薬企業として強い存在感を示すことができるようビジネスを推進していきます。

新経営方針「Forging the future 未来を拓く」実現のため、成長に向けた構造改革に取り組んでいます。経営基盤の構築と経営資源の再配分を通じて業績回復を果たし、さらなる成長を実現していきます。

重点市場、重点領域への集中的な投資を実施

注力市場については、日本・米国を重点地域と位置付け、両国を中心に事業を展開しています。日本では、免疫炎症、糖尿病・腎、中枢神経、ワクチンを重点領域として取り組んでいます。

2022年6月に新発売した遅発性ジスキネジア治療剤「ジスバル」の適正使用を推進し、これまで治療法がなかった患者さんや医療関係者に希望ある選択肢をお届けします。また、糖尿病治療薬のラインナップに日本イーライリリー(株)が2022年9月に承認取得した「マンジャロ」を加え、テネリア、カナグル、カナリアで培った糖尿病領域でさらなるプレゼンス拡大をめざしていきます。米国では、中枢神経を重点領域として、2022年6月に新発売した筋萎縮性側索硬化症(ALS)治療薬「ラジカヴァ ORS」をALSフランチャイズに加え、米国での売上拡大をめざします。さらに、現在複数の開発後期グローバル試験を実施中であり、それらを着実に製品化へつなげていきます。私たちは、「病と向き合うすべての人に、希望ある選択肢を。」お届けすることで、世界の人々の健康に貢献します。

将来の成長に向けて各バリューチェーンを強化

ファーマ事業の各バリューチェーンにおいて、アンメット・メディカル・ニーズが残る疾患へのプレジジョンメディシン^{※1}の実現とアラウンドピルソリューション^{※2}の展開を進め、医薬品の価値最大化に向けてさまざまな取り組みを開始しています。

研究部門では、これまで培ってきた創薬技術に加え、AI創薬による化合物の探索を組み合わせ、創薬速度・確度を向上させる検討を開始しています。開発部門では、早期診断や服薬管理のアプリケーション開発によるアラウンドピルソリューションの提供や、リアルワールドデータの活用により新薬開発を効率化させる取り組みを開始しました。製造部門では、低炭素社会に向けたエネルギーの活用や環境負荷を低減させる新素材を用いた医薬品包装などを検討しています。営業部門では、DXツールを活用した情報提供活動の効率化に向けた取り組みを開始しました。さらに、コーポレート部門が統合されたことで、より幅広いナレッジを集約し、人材育成につなげる取り組みや、デジタルリテラシー向上のための取り組みを検討しており、グループ各社との協業によるシナジー創出を含め、グループ一体での運営を進めていきたいと考えています。

※1 人々の遺伝子、環境、ライフスタイルの違いを考慮し、適切な医療を、適切なタイミングに、適切な患者さんに届けること

※2 治療薬を起点に、予防から予後にかけてソリューションを提供し、患者さんご家族の生活の質(QOL)向上に貢献すること